

映画「アオギリにたくして」ポスター

# アオギリにたくして

広島平和記念公園の  
被爆アオギリの木の下で、  
たくさんの子どもたちに  
被爆体験を語り続けた  
ひとりの女性の物語

第1回  
JASRAC音楽文化賞  
受賞



♪主題歌「アオギリにたくして」  
挿入歌「らなまへ」  
作詞・作曲・歌：中村ま美

出演：原日出子 風見しんご 斉藤とも子 渡辺裕之(友情出演) 菅井玲 塩出純子  
牛島摩弓 柏木佑太 甲斐将馬 二橋進 大橋芳枝 はらまいこ 朝霧靖子 松井一實(広島市長)



■企画・製作・統括プロデューサー：中村ま美 ■製作・プロデューサー：吉澤寛吉・伊藤元利 ■脚本・監督：中村佳斗  
■シリーズ監修：中野友・上野山隆也 ■撮影監督：宮本和人・青野剛 ■編集：宮本和人 ■製作・演出・監修：ジュースの里

## キャスト [編集]

- 田中節子：原日出子 (中年期以降、特別出演<sup>[4]</sup>)、塩出純子 (青春期)
- 片桐千草：菅井玲
- 田中秀雄：風見しんご - 節子の父
- 田中清江：斉藤とも子 - 節子の母
- 堂内尚志：甲斐将馬 - 節子の上司
- 山城巧：二橋進 - 雑誌編集長、千草の元恋人
- 柏木隆志：柏木佑太
- 田中良重：牛島摩弓 (老年期)、はらまいこ (青春期)
- 柏木みつ：大橋芳枝 - 隆志の母
- 白鳥春奈：朝霧靖子 - 節子の同僚
- 永沼秀明：渡辺裕之 (友情出演<sup>[4]</sup>) - 10フィート運動の中心人物

## 【映画あらすじと解説】平和運動家「沼田鈴子さん」の物語

2013年（平成25年）公開のこの映画は「アオギリの語り部」と呼ばれ、広島平和記念公園にある被爆したアオギリの木の下で子どもたちに被爆体験を語り続けた被爆者の故・沼田鈴子さんをモデルに、原爆で片脚を失い、婚約者にも戦死されてしまった女性が、絶望のどん底から這い上がり、平和の語り部として生きる決意を抱いていく姿を描いた人間ドラマ。沼田鈴子さんは広島市に投下された原子爆弾により左脚を失い、壮絶な人生を歩みながらも、焼け跡に芽吹いたアオギリの生命力に励まされて語り部として生き抜いた平和運動家である。物語は、フリーライターの片桐千草が東日本大震災の被災地の取材中に、福島県の被災者たちにより植樹されている被爆アオギリと、そのアオギリにまつわる広島の人物に強く興味をひかれ、広島へ向かう。その人物・田中節子（劇中名）はすでに故人であり、節子の妹・田中良重が姉の遺志を継ぎ、被爆アオギリの苗木を日本各地に発送していた。千草は妹・良重の協力を得て、節子の物語の執筆を始める。

**<節子の生涯>** 太平洋戦争中の1945年（昭和20年）8月。広島逓信局の事務員であった田中節子は、婚約者との祝言を間近に控えた矢先、広島原爆の直撃により左足を失う。さらに婚約者も戦死。希望を断たれた節子はその後も、障害者差別、恋仲となった柏木隆志との悲恋、隆志の自殺、父の死など、何度も絶望の淵に立たされる。しかし、被爆で焼け焦げたアオギリから若い芽が芽吹いている姿を目にし、枯木同然になりながらも生きようとするアオギリに心を打たれ、生きる希望を取り戻す。やがて10フィート運動への協力を機に語り部となり、平和運動家への道を歩み出す。

**【姉の意志を継いだ妹・良重】**※青春期を阿南市出身のはらまいこさんが演じています。千草の取材結果は実り、節子の物語は『アオギリにたくして』の題で書籍化される。再び広島へ向かった千草は、良重に発行を報告し、再会を約束して良重と別れる。広島を発つ千草の手には、良重から託された被爆アオギリの苗木が携えられていた。

●2013年11月の記者会見後、広島の映画興行会社・序破急のニュースでは「まずは映画を見て欲しい。思わず応援したくなる、そんな映画です。映画を見終わったあとには必ずまっすぐな感動がある」と報じられた。広島市長の松井一實氏も特別出演している。

●映画の企画製作や上映に取り組む映画センター全国連絡会議は「反戦の思いを伝える秀作」と評価し、2015年（平成27年）の被爆70年に向け、本映画の上映に力を入れる方針と、日本各地に約30あるセンターによる上映と、被爆アオギリの植樹を進める方向を決定した。

●2014年（平成26年）には、日本音楽著作権協会（JASRAC）で音楽文化の普及発展に寄与している個人・団体・作品などの功績を顕彰するために新設された「JASRAC音楽文化賞」を受賞し、「主題歌や挿入歌など、音楽が被爆者の方の思いを効果的に伝える役割を果たしている。平和の尊さや命の大切さを訴えかけていく取り組みとして、原爆投下から70年になろうとしている今、顕彰すると賞された。

●2016年6月に行われたニューヨーク州の上映会でも反響は大きく、「なぜこれほど苦しい体験をしながら、被爆者は平和に貢献できるのか、などの声が何度も寄せられた。

はらまいこさん（主人公田中節子の妹・良重の役）



平和の種を人の心に蒔き続けた  
実話に基づく感涙の物語  
被爆アオギリにたくされた思いが  
今、我々に訴えかける

